



## 2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月14日  
東

上場会社名 リックソフト株式会社 上場取引所  
 コード番号 4429 URL <https://www.ricksoft.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大貫 浩  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 鈴木 俊彦 (TEL) 03-6262-3948  
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年2月期第3四半期の連結業績(2020年3月1日~2020年11月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	2,839	19.5	365	3.7	363	4.6	266	26.3
2020年2月期第3四半期	2,376	34.8	352	44.0	347	30.5	211	18.9

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 264百万円(25.6%) 2020年2月期第3四半期 211百万円(18.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	62.23	58.73
2020年2月期第3四半期	50.36	46.38

(注) 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第3四半期	2,301	1,705	74.1
2020年2月期	1,921	1,437	74.8

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 1,705百万円 2020年2月期 1,437百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年2月期	—	0.00	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,906	26.5	540	34.3	544	35.3	378	31.0	88.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期3Q	4,292,500株	2020年2月期	4,278,700株
② 期末自己株式数	2021年2月期3Q	48株	2020年2月期	48株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期3Q	4,288,372株	2020年2月期3Q	4,196,881株

(注) 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算出しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についてもその確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあり、先行き不透明な状況が続いております。雇用者数はこのところ持ち直しの動きがみられる一方、完全失業率は9月は前月と同水準の3.0%となり、労働人口および就業者数は減少、完全失業者数は増加しました。貿易・サービス収支はおおむね均衡し、生産は持ち直しが続くことが期待されます。ただし、海外経済の更なる下振れリスクおよび感染症によるサプライチェーンを通じた影響に十分注意する必要があります。

当社グループが属する情報サービス分野におきましては、企業価値や競争力向上のための「DX（デジタル・トランスフォーメーション）」推進の流れが継続しており、IoT、クラウド、RPA（Robotic Process Automation、ロボットによる業務の自動化）、FinTech等の先端技術を活用したIT投資の需要が引き続き堅調に推移しました。

一方で、業績悪化によりIT投資を含めた設備投資を一時的に控える動きもあるものの、政府によるデジタル庁設立の流れなど、中長期的には底堅いニーズがあり、引き続きIT投資等に対する影響を注視する必要があります。

このような状況の中で、当社グループは新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、売上高前年同期比19.5%増となりました。SIへの影響は依然として続いておりますが、ライセンス・自社ソフトは比較的安定して推移しております。そのような中、Atlassian社はクラウドファースト企業としてクラウド製品に注力するために、サーバー製品の永続ライセンスの新規販売を停止し、サブスクリプションライセンス（Atlassian Cloud版もしくはData Center版）のみに切り替えることを発表しました。弊社では兼ねてより、Atlassian社に限らないクラウド主体の時流への対策を講じており、その一環として10月30日に「Atlassian製品移行ご相談センター」を開設いたしました。これは、お客様が安心かつ安全に引き続きAtlassian製品を利用していただけよう、サーバー版からAtlassian Cloud版もしくはData Center版への移行に関して個別にご相談を承るサービスで、開設直後より多数のお客様にご利用いただき、好評の声をいただいております。変化が激しい今こそ、サポート面を強化し顧客の不安・要望に応えていくことが、顧客満足度を高め、利益に直結すると確信しております。

また、社内におけるDXの推進、働き方改革（社員のライフワークバランスの実現、効率的な業務遂行による長時間労働の削減）の実施により、さらなる生産性の向上、コストダウン等を目指し、Withコロナ、Afterコロナに順応した社内改革を推し進めてまいります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ380,030千円増加し、2,301,845千円（前連結会計年度比19.8%増）となりました。主な要因は、現金及び預金が252,483千円、売掛金が109,872千円増加したことによります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べ111,659千円増加し、596,035千円（前連結会計年度比23.1%増）となりました。主な要因は、賞与引当金が44,533千円、買掛金が35,747千円増加したことによります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ268,370千円増加し、1,705,810千円（前連結会計年度比18.7%増）となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が266,886千円増加したことによります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の業績につきましては、2020年4月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。今後、業績予想の修正の必要性が生じた場合は、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,458,395	1,710,879
売掛金	223,685	333,558
電子記録債権	4,319	582
仕掛品	27,805	25,643
その他	30,647	44,291
流動資産合計	1,744,853	2,114,955
固定資産		
有形固定資産	72,860	72,751
無形固定資産	5,496	2,358
投資その他の資産	98,604	111,779
固定資産合計	176,961	186,889
資産合計	1,921,815	2,301,845

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	125,634	161,382
未払法人税等	64,331	62,938
前受金	155,116	158,467
賞与引当金	24,661	69,194
その他	68,890	98,246
流動負債合計	438,634	550,228
固定負債		
資産除去債務	45,740	45,806
固定負債合計	45,740	45,806
負債合計	484,375	596,035
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	316,468	318,193
資本剰余金	351,468	353,193
利益剰余金	770,418	1,037,304
自己株式	△335	△335
株主資本合計	1,438,019	1,708,357
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△609	△2,574
その他の包括利益累計額合計	△609	△2,574
新株予約権	29	26
純資産合計	1,437,439	1,705,810
負債純資産合計	1,921,815	2,301,845

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
売上高	2,376,728	2,839,990
売上原価	1,456,169	1,771,641
売上総利益	920,558	1,068,349
販売費及び一般管理費	568,276	702,959
営業利益	352,282	365,389
営業外収益		
受取利息	52	3
販売奨励金	1,109	—
受取返還金	1,179	—
助成金収入	570	1,045
その他	72	73
営業外収益合計	2,983	1,121
営業外費用		
株式交付費	1,514	107
株式公開費用	113	—
為替差損	6,412	3,099
営業外費用合計	8,040	3,206
経常利益	347,226	363,304
税金等調整前四半期純利益	347,226	363,304
法人税、住民税及び事業税	132,365	110,371
法人税等調整額	3,525	△13,953
法人税等合計	135,890	96,418
四半期純利益	211,335	266,886
親会社株主に帰属する四半期純利益	211,335	266,886

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	211,335	266,886
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△333	△1,964
その他の包括利益合計	△333	△1,964
四半期包括利益	211,002	264,921
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	211,002	264,921



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。